

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年1月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>アクアコミックス オイおじ!!</p> <p>令和3年12月10日発行</p>	<p>短編集のため、性交場面が多いが、擬音や体液描写が多いわけでもなく、絵柄の印象を含めて卑わい感はない。しかし、性器の修整については、形状が認識できる程度であり、登場回数も多い。成人向き。指定該当。</p> <p>性器の登場回数が非常に多く、その修整も甘い。卑わいさを感じる。同人誌に掲載された作品を中心に短編集的な作りで、性描写が多い。指定該当。</p> <p>性器を修整しようという意思よりも、凶悪な性器を描くために本作を描いているとすら感じる。全年齢対象の作品として流通するのは難しい。指定該当。</p> <p>全体的にコミカルで卑わい感はないが形状や血管まで分かるような局部の消し方、そのページの多さから指定やむなし。</p> <p>BL短編集。画力もあり、ストーリー展開がスムーズ。キャラ設定も上手で、片思いからの両想いによる性行為への流れや気持ちの解放も見ていてほんわかした。だが、男性器の消し方があまりにも乱暴すぎる。消しの大甘さと強調しすぎる男性器の登場回数の多さが青年レベルを超えているため指定やむなし。</p> <p>性器、開脚部、結合部のアップが多い。性器には陰影をつけた上で白線で消すなどの修整が施されており、かえって強調している意図を感じる。性器を過剰に大きく見せるなど大仰な表現から全体を通じて卑わいというよりもコミカルにすら感じるが、指定やむなし。</p> <p>絵柄はコミカルで親しみやすい印象。短編集だがそれぞれにストーリー性がある。体液描写もそれほど多くはない。ただ、性器の描写が人物画に比べるとリアルで、しかも消しの甘さも多々感じる。この一点において指定該当。</p> <p>強要などはなくストーリー的には問題ないと思うが、局部の消しが甘く、形状、質感まで伝わる。登場回数が多い。指定該当。</p> <p>性器の修整が甘いところがあり、性交場面も多く指定該当。</p> <p>性器の修整が甘く、形状が分かる。また、登場人物が筋肉隆々のためか性器も必要以上に誇張されているように感じる。指定該当やむなし。</p> <p>性器の消しが甘く、形状がはっきりしている。第一話には、近親相姦的な側面があり、BLにおける判断が難しいが、指定該当。</p> <p>おっさん、肉体派コミックと書いてある様に卑わいさを感じさせない描き方だと思うが、性器の描き方が大きく、白く消してはあるものの形状もわかり強い印象を与えている。指定該当。</p> <p>男性の筋肉美・ポーズ・表情等リアルである。描写が上手い分卑わい感・人格否定もあまり見受けられない。ストーリーも短いがまとまっている。しかし男性器の修整が甘く、輪郭がはっきり分かる。しかも誇張させすぎている。ページ数も多い。指定該当。</p> <p>コミカルな描写とストーリーで卑わい感はない。また、人格を否定するようなシーンもない。ただ、性器の消しが甘く、露骨に形状など分かる。指定該当。</p> <p>男性器の消しが甘い。又、性交シーンも多い。保留。</p> <p>全編を通じてコミカルなタッチで描かれていて、卑わいな感じは不思議としない。全体的に性器の修整が甘く、性器の形状が判別できる箇所があるが、強調して描くあまり、リアル感はなくなっている。人格否定に該当する箇所は特段見受けられない。保留。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年1月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno! 連勤明けのごほうびは 令和3年12月21日発行</p>	<p>恋愛マンガとして、キャラクターを上手に描いており、非常に力量のある作家。性器は、白くぼんやりとした形状にしか分からないように修整が施されているが、個々のキャラクターの表情や、性交場面のアングル、そして擬音と体液の量が多く、卑わいな感じを与えている。指定該当。</p> <p>恋人同士の心のやりとりが描かれており、一定のストーリー性を感じる。強制性や犯罪性には感じないが、擬音・体液の描写が多いことから、指定該当。</p> <p>キャラクター表現がとても良く作品の完成度は高いが、全編にわたって過激な性行為の描写が多い。画力が高い分だけ卑わいさが際立つ。性器の修整の甘さや、挿入後の描写など成人指定でないことにするのは無理がある。指定該当。</p> <p>心の交流を描く手腕があり、体の関係も重要なファクターとして描かれているが、性器の消しが弱い。店長がアルバイトを意のままにして結果オーライのように描かれており、人格否定的と感じる。性交シーンが多い。迷うが指定やむなし。</p> <p>BL2本の短編集。2つの作品とも嫌悪感のない恋愛漫画。ただ、男性器の消しの甘さと漫画の流れを止めてしまうほどの大量の擬音の使用方法が、青年レベルを超えているため指定やむなし。</p> <p>全体としては性器の修整はされているが、性交場面が多く、指定該当。</p> <p>性器の修整はきちんとされているように感じるが、擬音、体液描写が激しく、尿道プレイなど青少年が読む本としてはふさわしくない。指定該当。</p> <p>性交場面、体液描写、擬音などが多く卑わい感が強い。指定該当。</p> <p>二人の同意の行為で描かれているので強制的ではないが、卑わい感を感じる。性器は白く修整してあるが体液描写が多く、性行為が露骨な描き方である。指定該当。</p> <p>ストーリーがおもしろく楽しい展開の恋愛。卑わい感や人格否定もあまり感じられないが、性交描写が多く激しい。性器の修整はされているものの開脚時の擬音・体液描写のインパクトが強すぎる。指定該当。</p> <p>強要はなくストーリー的には問題ない。性器の修整もされている。性交シーンが多いものの、非該当と考えるが、本の袖にエロ本と書かれているため保留。</p> <p>BL恋愛まんがの短編集。きれいな絵柄で性交シーンには物語上の必然性もある。ただ、短編集なので、性交シーンは多い印象。アングルや液体表現については工夫の余地はあるかもしれないが、全編大部分ではない。また、修整には細かな配慮が見られる。人格否定等の表現もなかったため指定非該当。</p> <p>性器はしっかり修整されており、体液描写も抑制されている。性交シーンが割とあるが不自然なものではなく読者に納得のいくストーリー展開の上での描写と言える。擬音描写の多さが気になるもののそれほど卑わい感はないように思う。性的描写への全体的な配慮があることを重視し、指定非該当。</p> <p>男性器の消しが少し甘い。擬音、体液がとにかく多い。絵柄がコミカルで卑わいな感じを与えないので指定非該当。</p> <p>性交シーンはやや多く、擬音・体液の描写も多いが、そのシーンが見開き全体にぐちゃっと描かれているので、卑わいな印象は受けない。性器の消しはやや甘い箇所はあるが配慮は見られる。指定非該当。</p> <p>擬音・体液描写はやや多い印象。人格否定にあたる様な強制的あるいは暴力的シーンは見当たらない。修整の甘い箇所も見受けられるが、擬音・擬態の表現の多さによりそれぞれのコマの判別がしにくい印象があり、修整の甘い箇所もはっきりと認識できるレベルではない。指定非該当。</p>